

# ズバリ聞きます!

## 12月議会・6人が一般質問



北原 芳史議員

### A型インフルエンザ 対策について

**問** 学校閉鎖・学級閉鎖の状況について伺う。

**答** (総合教育課長) 和水町の小中学校では、25学年、学級閉鎖を行った。小学校520名中160名、中学校については322名中149名、全体で842名中309名が新型インフルエンザに感染している。(36.7%) 12月11日現在、1学年2学年が学級閉鎖を行っており、11日から15日迄、臨時休校の措置を取った。

**問** インフルエンザによる授業に対する影響はどうか。

**答** (総合教育課長) 授業実数が足りなくて7時間授業にしても不足の状況である。学校によっては、1年生と6年生だけが登校という所も出た。今後の対応等について検討を重ねていく。

**問** ワクチン接種についての現状はどうか伺う。

**答** (町立病院事務長) 11月中旬迄に医療従事者用に106名分入荷、基礎疾患の患者用に92名分入荷、町立病院への給

数は必要数量の約42%の入荷しかあっていない。

**問** 町立病院と特別養護老人ホームは隣接しており、インフルエンザに感染する度合いが高いと思うが、予防についてはどのように行われているか。

**答** (町立病院事務長) 特別な対策は行っていないが、手洗い、マスクの着用を行い予防に当たっている。

### 町政運営について

**問** 安心安全の福祉の町づくりについて。

**答** (町長) 誰もが健康づくりに取り組み、高齢者・障害者が生き生きと暮らすことの出来る、次世代を担う子ども達が健やかに育つ環境づくりが必要であると思っている。

**問** 福祉の町づくりを推進することが、住み良い町であると言うことの評価につながると思う。高齢者に対する思いやりでご長寿応援商品券を配布したが申請と利用状況はどうか伺う。

**答** (町長) 現在迄に12、252枚の利用があり、金額にして612万円の請求があっている。スーパー、ガソリンスタンド、床屋、パーマ屋さん等、約40事業所で手軽に利用出来喜ばれている。

**問** 定住促進と人口減対策について伺う。

**答** (町長) グリーンビレッジ平野(11区画)、現在7区画が契約済み、あと1軒が契約待ちの状況、売れ行きを見極め、菊水地域における分譲事業も検討していくよう考えている。

**問** 商工・農林業の発展施策と企業誘致について。

**答** (町長) 旧菊水、旧三加和商工会が合併し、県の商工関係の事業等について情報提供を行っている。農業関係では県補助整備事業(十町地区)、団体営圃場整備(日平地区)、中山間地総合整備事業で三加和地区で31.9ha、事業費6億8,000万円を計画推進を図っている。又、鳥獣被害の抜本的対策を講じる必要が急務であり、22年度の採択にむけて取り組んでいる。総事業費4,700万円を計画し進める。企業誘致に関しては県の企業等の連絡協議会並びに荒尾・玉名・鹿本地区先端技術波及促進協議会への参加と情報収集を行っている。20年9月、旧JA跡にオーシャーンエナジーテクニカが進出。21年度においても2社から話が有っている。

**問** 行財政改革についての方向性と今後の展開について。

**答** (町長) 本町は、合併してもなお中山間地・過疎地域・高

齢社会といった状況である。これらの共通認識のもと行政改革を推進する。

一、社会情勢の変化に伴い、最小の費用で最大の効果を発揮する。

一、職員は住民との信頼関係を心がけ行政運営の適正化や事務改善に取り組む。

一、住民から納められる税、負担金等を原資とする施策の有用性を点検し、説明責任に努め、地域力を高める。

以上の点を推進し、意欲有る人材を育成・確保し、組織力の向上を図っていく。しかしながら、町の財源は51%が地方交付税であり、依存財源77%、自主財源23%と交付税の依存体質が強いということである。事業の見直しを行いながら、財政の健全化に向けた取り組みを進め、効率的・効果的な財政運営の実現を目指して取り組んでいく。

**問** 和水町の約4年間の舵取り役をされた坂梨町政、次期の町長選出馬について伺う。

**答** (町長) 全ての町民が合併してよかった。そして、より安全・安心を強く感じていただくため町民一丸となって理想郷建設に向けて、2期目も全力を尽くしてまいりたい。



高巢 泰廣 議員

## 人事常務管理・職員研修について

**問** 合併時における旧町間の賃金格差は是正されたか。

**答** (町長) 旧町間の賃金格差は是正は、合併後調整する事で今日まで取り組んでいる。

合併前3.2ポイントの開きがあつた。和水町は1月1日付で昇給を実施している。合併後3回格差は正を実施した。是正は全般的に見直しを行い大部分の是正は出来ていると思われ、格差が大きかつたところにおいては、今後数年を要すると思われる。

**答** (総務課長) 19年に一般事務職141人のうち50人(35・5%)を対象に特別昇給、20年1月に一般事務138人中27人を是正、全職員272人中71人の是正を実施、結果としてラスパイレース指数は92・8%である。

21年1月に一般事務1表対象135人中34人を対象に是正を行ったが、まだ少し差があるのが現状です。

**問** 人事考課制度の導入については18年9月議会で質問したがその後の検討結果を伺う。

**答** (町長) この件は、今後検討課題として前向きに検討すると答えていたと思う。

民間では広く導入され人事労務の徹底が図られている。公務員においても、能力実証主義を基本に勤務成績の評価をすべきであると思う。導入の必要性は十分感じている。現状具体的検討は進めていない。現在職員間の給与格差は是正を行っている段階であるので併せての人事考課制度導入は混乱を生ずると思われるので、今日導入していない。今後導入する方向で準備する。

**問** 職員の意識改革、資質の向上を図る目的で民間企業等での研修制度を創設してはどうか。

**答** (町長) 現在の経済状況

下で民間企業等で研修を経験すれば、民間の厳しさ、経営能力等多くを学ぶ事が出来るのは事実であり、研修制度も必要と考えるが、現在市町村アカデミー研修、県との人事交流研修、県市町協議会主催の初任者、新任課長、階層別研修、専門研修等に参加させている。

## 農林業の振興について

**問** 遊休農地解消・高齢者の生きがい対策・新規就農者対策の取り組みによる地域活性化について伺う。

**答** (町長) ハード・ソフト両面から総合的に考え何が出来るか提言を踏まえて調整していきたい。

**答** (経済課長) 耕作放棄地対策は農業委員会等と一緒に積極的に耕作放棄地解消に努めていく。又、高齢者対策は農協が「生き生き農業事業」でビニールハウス(2a程度)の設置に補助1/2を農協が行い玉名管内で30件の申請が出ている。玉名市においてはさらに1/4の補助

金を上乗せしている。実施要領など一部、農協と協議検討する部分があるが、今後この辺を調整し検討してみます。次に新規就農者の掘り起し関係ですが、本町では町独自で20万円の助成をしている。又、国の直轄事業で新規就農定着促進事業がある。町も取り組んでいる事を、宣伝・周知をする必要があると思つている。農業機械・施設に対し、1人当たり最高400万円で、1/2は国が助成する。本年度3件の申請があつた。間伐材の活用策については、現状助成金を出す補助事業があるが、採算に合わない為に、切り捨て間伐というのが現実である。今年度、町単独補助で50haを計画、うち市場出荷見込みは2.6haと少ない状況にある。

次に木質バイオマス燃料による新エネルギー利用は間伐材の有効利用になり、注目すべき事であるが、燃焼装置等の機械導入代が高くつくなど難点がある。燃料安定供給体制、焼却灰の処理等課題があるが、今後本町としても積極的に推進を考えていく事も考えなければならぬと思つている。

## 町民を自然災害から守る「安全・安心」対策について

**問** 異常気象による自然災害が頻発している。災害が発生した場合の被災者救援等を目的に町独自の「災害復興基金」を創設してはどうか伺う。

**答** (町長) 災害が発生した場合、災害救助法等により応急的救助など実施又、和水町罹災見舞金条例を制定し、見舞金を交付している。災害は突然起こる。町民を自然災害から守るため、被災者に対するの救援措置を図るために町独自の災害復興の支援対策の検討を前向きに考えていきたい。

